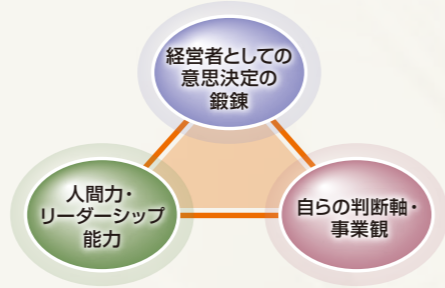


プロフェッショナル・ビジネスリーダーコース(PBL)

オンゴーイングケーススタディーによる経営者としての意志決定力の強化
～修羅場における決断力と実行力を養う～

目指すゴール

修羅場において困難な意思決定をくだし、変革を実行するプロフェッショナル・ビジネスリーダーに必須の能力を短期間で実践的、集中的に育成することを目的とします。



特長

1 On-going Case Study™

実在企業をケース企業として、生きた経営情報(財務情報、営業活動情報、顧客情報、業務実績情報など)をもとに、ケース企業の経営課題を抽出します。新たな成長戦略を描き、経営トップに対して提言を行う実践的プログラムを通して、決断力と実行力を習得するための手法です。

実践力の深化/On-going Case Study™ とは

実践力の進化

① 経営戦略のフレームワークの習得

企業を取り巻く競争構造や企業経営の分析手法を学び、企業の競争力を大きな視点から捉えます。同時に、ケースメソッドなどを通じて戦略をどのように実現していくかを学びます。

- 経営戦略
- マーケティング戦略
- 財務戦略
- 意思決定のフレームワーク 他

ポイント 分析に必要とされる戦略、マーケティング、財務などの基本知識とフレームワークを学ぶ

② On-going企業の現状と課題の分析

On-going企業を内部・外部情報をもとに分析するとともに、社長・経営幹部および現場の方々へのヒアリングを通じて、現状と課題を明らかにします。

- 社長の経営方針・財務情報
- 組織情報
- 商品情報
- 工場視察...etc

ポイント 複雑に入り組んだライブの企業経営をほぐし根本や本質を見極める全体観を養う

ポイント 仮説検証・評価

- 従業員へのヒアリング
- アンケート調査
- 競合分析...etc

ポイント 実在するケース企業の実態やKFSを炙り出す仮説力を養う

ポイント 修羅場体験によるマインド強化と実践力を養う

③ とるべき戦略の策定と提案(プレゼンテーション)

自らが企業トップとなった場面を想定しながら、チームで独自性のある経営戦略を策定します。最後に具体的なプランにまとめて、社長へのプレゼンテーションを行います。

ポイント ケース企業の社長から提案の評価を受ける

注)ケース実施企業の競合企業・取引企業など受け入れに支障のある企業については、ご受講をご辞退いただく場合がございます。

2 会社全体を捉える

企業すべての機能・部門、階層、ステークホルダーなど全体像を見抜く。

3 産学と実践を統合

経営知識と実践力を接合させ、経営の本質を理解する。
講義で学んだフレームワークや理論を駆使して、ケース企業の分析や戦略の立案をくりかえし行うことで、自社に持ち帰り、即実践できるようにします。

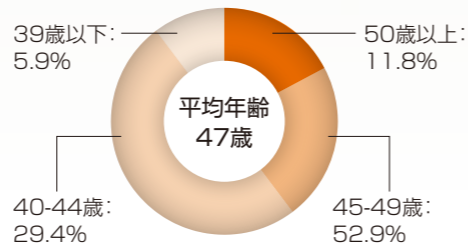
受講者データ

- 役 職：役員、部長、次長、課長、マネジャー 他
- 所属部門：経営企画、事業企画、営業、営業企画、経理、研究開発、生産技術、購買、物流 他

経営者への提言テーマ実績(1~20期)

受講生自らが課題を抽出し、テーマを決めます。

- 理念の浸透および組織・人事・人材育成
- 技術戦略
- 海外戦略
- 収益構造改革
- 事業ドメインと中長期戦略
- 新製品開発戦略
- 新しいビジネスモデル構築
- 販売体制の再構築
- CSRとリスクマネジメント
- 次世代リーダー創出 など



プログラム(全8回・19日間)			
単位	日程	単位テーマ/主な内容・活動(予定)	On-Going Case Study™での主な活動
■開講前:事前課題「ケース企業の基本戦略理解」(これまでの成功要因と今後の課題について各自仮説設定)、課題図書を通読			
1	7月24日(月)・25日(火) ケース企業(ベトナム合宿)	「経営プロフェッショナルの視点・思考」 ● 講義「経営戦略理論の基本的フレームワーク」 ● 討議「問題発見・議論集約の概論」 ● ケース企業社長講演	経営課題の抽出・研究テーマの選定 ケース企業経営者講話「当社の経営理念と戦略」 ● 経営者との対話 ● ケース企業視察(本社工場など) ● ケース企業の経営環境・業界・競合の把握 ● チーム編成・提言テーマ決定
2	8月8日(火)~11日(金) 東京(通い)	「競争優位実現のための戦略的意思決定」 ● 講義「戦略的意思決定とは」 ● 講義「不確実性と戦略」 ● 演習「ケース企業と他社の戦略比較分析」	仮説構築 ● 討議「チーム研究進捗報告・情報共有」 ● 他チームとの意見交換 ● ヒアリング内容の検討
3	8月28日(月)~30日(水) ケース企業(福山合宿)	「戦略課題の明確化」「ケース企業ヒアリング①」 ● 講義「企業の持続性と戦略」 ● 社員ヒアリング	仮説検証 ● ケース企業への第1回ヒアリング(経営者、現場等)⇒実態調査ヒアリング ● 討議「チーム研究進捗報告・情報共有」
4	9月6日(水)~8日(金) 東京(通い)	「経営戦略と人材・組織戦略」「財務情報に基づく事業価値の評価」「企業戦略とマーケティング」 ● 講義「経営戦略と人材・組織変革」 ● 講義「企業活動の社会性と戦略」 ● 講義「財務情報に基づく経営分析」 ● 講義「戦略的マーケティング」	仮説再検証・アクションプランの策定① ● 他チームとの意見交換 ● ヒアリング内容の検討
5	9月12日(火)・13日(水) ケース企業(福山合宿)	「中間報告会」 ● 経営層への経過報告	仮説再構築 ● 提言内容の具体化討議 ● ヒアリング内容の検討 ● 他チームとの意見交換
6	10月12日(木)・13日(金) ケース企業(福山合宿)	「シナリオの検証と深化」「ケース企業ヒアリング②」 ● 社員ヒアリング ● 討議	仮説再検証・アクションプランの策定② ● ケース企業への第2回ヒアリング(経営者、現場等)⇒仮説検証型ヒアリング ● 討議「チーム研究進捗報告・情報共有」
7	11月2日(木)・3日(金) 東京(通い)	「シナリオの検証と深化」 ● 個人プレゼンテーション「本コースでの学びと今後活かすこと」 ● 討議	仮説再構築 ● 討議「チーム研究進捗報告・情報共有」 ● 最終報告会準備
8	12月1日(金) ケース企業(福山合宿)	「プロフェッショナル・ビジネスリーダーへの自己変革」「最終報告会」 ● 経営層への課題解決提言 ● 修了式	ケース企業経営陣への提案 ● 経営提言と評価 ● 表彰

※日程・プログラム内容等は変更になる場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。

講師プロフィール



岡田 正太氏
慶應義塾大学大学院
経営管理研究科 教授

1985年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。榎本田技研工業を経て、1993年慶應義塾大学経営学修士(MBA)。Arthur D. Little(Japan)を経て、米国Muse Associates社フェロー。1999年、オハイオ州立大学経営学Ph.D.を取得。2002年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授。2013年より現職。



犬飼 知徳氏
中央大学
戦略経営研究科
准教授

2004年一橋大学商学研究科博士後期課程修了。博士(一橋大学商学)。国立香川大学経済学部准教授を経て、2013年より現職。現在、本母校を含め多くのビジネスパーソンの教育に従事。

受講者の声



竹島 昌弘氏
株式会社日立製作所
社会イノベーション事業推進本部
サービス事業推進本部
アフター&ライフサイクル部 部長

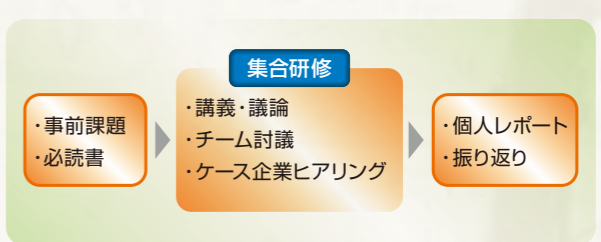
私の参加した[第15期]は山万株式会社でケース企業でした。この研修では、ケース企業の社長をはじめ幹部の方々との対話や、生の経営情報に触れることができました。そして、自分(チーム)がケース企業の社長になったつもりで、課題を見つけ出し解決策を考え、新しい事業を具体的に作り込んでいくという経営者としての疑似体験ができるのが魅力だと思います。研修はいろいろな観点での学びの場が提供され、講義も一方的な座学ではなく、ワークショップ形式で議論が進みます。参加者は各社から選抜されたモチベーションが高いメンバーが集まります。そのため、いい意味で議論が白熱してぶつかり合う事もあります。また、自分が持ち合わせていなかった観点からのアイデアを出してまとめるためにリーダーシップを発揮することも求められました。ケース企業の、山万様は不動産・建設業界だったのですが、私たちのチームは農業を提案しました。現在その提案した事業が、新たな会社として設立されました。私たちも真剣だったのですがケース企業も真剣に提案を受け止めてくれたのだと思います。現在の業務と比較しても、1段も2段も高く、かつ幅広い視点での学びが体験できる場であったと思います。

インタビューの続きは
ホームページでご覧いただけます。

JMI

検索

プログラムの流れ 各単位での進行基本フレーム



主な参加企業 ※会社名50音順

- ・アステラス製薬株式会社
- ・株式会社アマダ
- ・AGS株式会社
- ・エヌ・イー・ケムキャット株式会社
- ・NECフィールディング株式会社
- ・株式会社エス・アルエル
- ・NTTコミュニケーションズ株式会社
- ・NTTドコモ株式会社
- ・大飯ガス都市開発株式会社
- ・大崎電気工業株式会社
- ・オムロン株式会社
- ・株式会社オリエントコーポレーション
- ・キャノンマーケティングジャパン株式会社
- ・花王カスタマーマーケティング株式会社
- ・KYB株式会社
- ・KDDI株式会社
- ・株式会社廣済堂
- ・コーセル株式会社
- ・株式会社資生堂
- ・シャープ株式会社
- ・新日鉄住金ソリューションズ株式会社
- ・住友商事株式会社
- ・西部電機株式会社
- ・積水化学工業株式会社
- ・綜研化学株式会社
- ・武田薬品工業株式会社
- ・第一三共株式会社
- ・第一生命保険株式会社
- ・TDK株式会社
- ・テルモ株式会社
- ・株式会社デンソー
- ・株式会社東京エネクス
- ・東京急行電鉄株式会社
- ・東京地下鉄株式会社
- ・東京電力株式会社
- ・株式会社巴商会
- ・ニッカウキスキー株式会社
- ・日本軽金属株式会社
- ・日本製紙株式会社
- ・日本電気株式会社
- ・日本ハム株式会社
- ・日本たばこ産業株式会社
- ・日本ビューレット・バックカード株式会社
- ・日本メジフィジックス株式会社
- ・播州信用金庫
- ・株式会社日立製作所
- ・日立造船株式会社
- ・株式会社日立ビルシステム
- ・富士重工業株式会社
- ・富士ゼロックス情報システム株式会社
- ・富士レボロ株式会社
- ・株式会社ブリヂストン
- ・株式会社ベネッセコーポレーション
- ・三菱化学株式会社
- ・三菱重工業株式会社
- ・株式会社村田製作所
- ・山本貴金属地金株式会社
- ・ライオンエン지니어リング株式会社
- ・株式会社ロッテ